

I. 令和4年度事業報告

1. シン・ヤマナシ構築委員会

委員長 長澤重俊

令和4年度のシン・ヤマナシ構築委員会は①提言部会、②リニア・中部横断道部会、③勉強会部会という3つの部会によって運営してきました。昨年度の総会にて承認された経済同友会の本分である提言活動にその重きを置く、という委員会方針のもと、その提言に必要な情報を勉強会部会で適宜得ながら、それを提言部会で咀嚼、検討して4年ぶりの提言「シン・ヤマナシの実現に向けて」にまとめ、8月1日に長崎知事に手交いたしました。またリニア・中部横断道部会は山梨大学・武藤先生とも連携して、その経済効果について研究し記者発表するなど有意義な活動を行いました。

(1) 提言部会 活動報告

部会長：長澤重俊

メンバー：雨宮潔、小澤健太郎、奈良田伸司、古屋賀章、宮崎順子、
横山明正

◇活動の概要

当初は令和5年5月頃に山梨県に提言を提出しようと考え、準備委員会を立ち上げどんな形で進めていくかを議論していましたが、議論を深めるにつれてメンバーとしてはこのまま提言としてまとめていく方が良いと判断して、そのまま提言部会に名称を変更して活動を継続しました。

その後、議論や学生とのラウンドテーブルを重ね、提言の目的は「若者が幸せに暮らせる山梨にする」ことに決め、その主題として山梨県全体に「喜業家」を溢れさせていくことを目指すことにしました。造語である喜業家とは、「楽しみながら事業を起こす、あるいは参画、支援する事業者・個人」を指し、山梨県の特長でもある、濃い人と人のつながり、ネットワークをベースにするものです。これまで山梨県に存在する様々な産業を、デジタルを基盤として新しく定義すると共に、それぞれ単独ではなく結合させることによって新しい産業として生まれ変わっていくことをシン・ヤマナシとイメージしています。山梨に住む若者がそのネットワークを生かして楽しみながら事業を起こす、またその若者を応援する人々も共に喜びを分かち合う、そういった全体をエコシステムと呼び、その構築を目指すことを主旨として提言にまとめました。

◇活動実績報告

■提言部会による話し合い

令和3年度に2回準備委員会を開いておりましたので、今年度の活動としては第3回から、という事でカウントしますと、提言部会を13回開催したことになります。山梨文化会館の1室をお借りして、毎回2時間みっちり議論させていただき、お忙しいメンバーの方々には多大なるご協力を頂きましたことを改めて感謝申し上げます。

- ・10月14日 第3回準備委員会 於：岡島
- ・11月25日 第4回準備委員会 於：山梨文化会館
- ・12月22日 第5回提言部会（名称変更） 於：山梨文化会館
- ・1月24日 第6回提言部会 於：山梨文化会館
- ・3月7日 第7回提言部会 於：山梨文化会館
- ・3月24日 第8回提言部会 於：山梨文化会館
- ・4月28日 第9回提言部会 於：山梨文化会館
- ・5月12日 第10回提言部会 於：山梨文化会館
- ・5月31日 第11回提言部会 於：山梨文化会館
- ・6月6日 第12回提言部会 於：山梨文化会館
- ・8月31日 第13回提言部会 於：経済同友会事務局

■学生とのラウンドテーブル

若者が幸せに暮らせる山梨とは？という問いを考えるためには、どうしても実際に若者の話を聞く必要がある、ということになり学生とのラウンドテーブルを2回開催して意見交換をしました。若者としてZ世代である大学生の話を聞いたのですが、人と人のつながりに価値を感じると言った同友会メンバーと同じ価値観の部分もあり提言作成に大いに参考になりました。またこのラウンドテーブル開催に当たっては(株)グッドウェイ・藤野代表に大変なご協力いただいたことに感謝申し上げます。

- ・12月7日 第1回 「学生が考えるシン・ヤマナシの構築とは」
- ・2月24日 第2回 「若者が幸せに暮らす山梨の実現に向けて」
※「勉強会部会」にて詳述

■長崎知事に提言を手交

日時 2023年8月1日（火） 13:00～13:20

場所 山梨県庁3階 第1応接室

提言書 「シン・ヤマナシ実現に向けて」（総会資料巻末に掲載）

～若者が幸せに暮らせる山梨にするために～
～人を中心に据えた経済への転換、再定義～



■山梨県知事政策局と意見交換

日時 2023年8月31日(木) 14:30～15:35

場所 山梨県庁中2階 特別会議室

(知事政策局) 三科隆人政策参事、堀内由加子政策主幹



◇今後の活動について

今後、当部会名称を「シン・無尽部会」として改め、提言のなかでエンハンス機能と位置付けた繋がりを創造する場であるシン・無尽（繋がり創造する場）と、起業したいと思った若者が一番適切な情報を得られる仕組みとしてのメンター制度を実際に展開していくことに軸足を移していく予定です。

以上